

# 一般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。

第9回定例会では、

12月1日、2日、3日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》並木市長の来期の市政運営への決意は

《A》引き続き、市政を担当させていただきたい

富松 崇 議員（新国会）



並木市長の来期の

市政運営への決意について

質問 羽村市長選挙が来年

3月に実施されることが公表され、議会をはじめ多くの市民の関心が高まっている。

並木市長はこれまで、子育て環境や福祉施策の充実、市内産業の活性化、また行財政運営も徹底した改革を進められ、全庁を挙げて事務事業のスリム化にも取り組まれている。市民・事業者の目線に立つことを大切に、時代に即した行財政運営に努めてこられた

並木市長に、来期の市政運営への決意を伺う。

市長 市長に就任して5期20年。人口減少や少子高齢

化が進み、環境問題や近年、頻発する大規模な自然災害等々、目まぐるしく変化する時代の要求に即した施策を進め、これまで市政運営にあたってきた。

これからの市政運営は、社会経済状況の変化に加え、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延する中、羽村市民の皆様の命を守るのと、そして、市民の皆様の生活や経済活動をしっかり支えることである。

この非常事態ともいえる難局を乗り切るため、これまで首長として積み上げてきたこと、学んだことを今後の4年間に、総合力、決断力、そして、組織力をもつて、引き続き、市政を担当させていただきたい。

市役所屋上から見た市内の風景



市役所屋上から見た市内の風景



### 《Q》羽村市長選挙出馬は

### 《A》次期市長選挙に出馬する

濱中 俊男 議員（令和かがやき）



#### 次期市長選挙出馬について

**質問** 次期市政運営への決意は。

**市長** 平成13年に市長に就任以来、市民の視線に立つて施策を展開し、子育て施設の環境整備や小中一貫教育の取り組み、災害対策の強化等に積極的に取り組んできた。コロナ禍においては、市民の命を守り、生活や経済活動を支えていく。羽村駅西口土地区画整理事業については、権利者をはじめ市民の理解と協力のもと推進していく。

羽村市の前途が魅力にあふれ、希望に輝き続けていくよう、全身全霊をささげ邁進し、次期市長選挙に出馬することを表明する。

#### コロナ禍の

#### 自殺者対策について

**質問** 経済的理由による自殺者増をどう捉えているか。

**市長** 警察庁の自殺統計によれば、国の自殺者数は7月以降増加している。生活を下支えする経済的施策は

生きていくために必要な施策であり、市民に各種支援策の内容の周知を続けていく。

**質問** 女性の自殺者が増えている。特別な対策が取れないか。

**市長** 経済的な支援、女性悩みごと相談、女性生活相談、産後ケア事業などを、継続していくとともに各部署間の連携を強化し、必要な部署へ確実につなぐ体制を整えていく。



自殺対策への取り組みとして産業祭で行った啓発活動



### 《Q》イオンタウン建設予定地はどうか

### 《A》共同開発等の協議を行っているとしている

石居 尚郎 議員（公明党）



#### 神明台2丁目の企業進出

**質問** イオンタウン建設予定地はどうか。

**市長** イオンタウン(株)とニプロ(株)で共同開発等の協議を行っているとしている。

**質問** 松菱金属工業(株)移転に伴う、工場の取り壊しへの安全対策については。

**市長** 解体工事は来年3月末までの予定。市として、東京都環境局と連携し定期的にパトロールを実施する。更地となった後の管理については、鋼板フェンス等を設置するなど適正に管理を行うよう働きかけている。

**質問** 市道第3022号線の拡幅については。

**市長** 暫定的な整備ができる



神明台2丁目地域

るよう、イオンタウン(株)との協議を進めている。マンション側の歩道内にあるN

T T電柱についても、今年度中に道路反対側の東京電力の電柱にN T Tケーブルを移設するなど改善を図る。

#### 感染症から命を守れ

#### 介護・医療等の対応について

第三波と言われる感染拡大が続く中、介護関連施設や障がい者施設等のPCR検査・抗原検査への取り組み、医療のICT化等について聞く。

**質問** 地域包括ケアシステムの構築にむけたICTを活用した医療体制については。

**市長** 公立福生病院においては、にしたまICT医療ネットワーク「にしたまネット」の導入について検討中であり、活用状況を確認していく。



《Q》立川防災館を職員研修で見学させてはどうか

《A》今後、他の職員研修との調整を含め検討する

高田 和登 議員（つながる力）



**防災館について**

**質問** 市職員研修の一環として希望者や新規採用職員に立川防災館を見学させる企画をしてはどうか。

**市長** 今後、他の職員研修との調整を含め検討する。

**質問** 第六次長期総合計画に防災館の建設をいれたらどうか。

**市長** 貴重な意見とする。

**コロナ禍における宅配ボックス普及等について**

**質問** 環境省が推進する非接触のオープン型宅配ボックスを市役所や駅に設置してはどうか。

**市長** 今後、設置事例の調査・研究に努める。

**質問** 宅配事業者との間で、業務提携を検討してはどうか。

**市長** 今後検討していく。

**認め印の廃止等による業務の電子化について**

**質問** 市民に認め印などを求める書類の削減を検討したらどうか。

**市長** 国や都の動向を注視し取組みを進める。

**質問** 電子申請できる手続きが18ある。活用されているか。

**市長** 10月末で1213件の利用があった。今後も、電子申請できる業務の拡大を図る。

**質問** 学校が保護者に認め印を求める書類の削減を検討したらどうか。

**教育長** 今後は、国の動向などをふまえ検討していく。

**質問** 民間では電子職印を使用した電子決裁システムが普及しつつある。導入について検討したらどうか。

**市長** 国や他の地方自治体などの動向を注視し検討を進める。



立川防災館



《Q》避難所の混雑状況を発信してはどうか

《A》防災無線や公式サイト、メール等で周知する

中嶋 勝 議員（公明党）



**さらなる防災力の強化を**

**質問** 避難所において、間仕切りや簡易テント、ダンボールベッド等の備蓄を増やす必要はないか。

**市長** 災害内容、規模等により平時から精査に努め、計画的に配備を進める。

**質問** 収容人数について、混雑状況を発信することにより、余裕のある避難所へ行くなど、密も避けることができると思うがどうか。

**市長** 防災行政無線や市公式サイト、メール配信サービスなどを活用し周知すること、迅速で効果的な避難支援を進めていく。

**質問** ペットの収容場所は設置されたが、適切な場所

確保されていないか。

**市長** 今後のあり方や方向性を検討する際には、その目的を十分に踏まえ、適時・適切に対応する。

**市長** 訓練を通じ、新たな課題が見つかった。具体策を検討し、避難所運営マニュアルに盛り込んでいく。



避難所に設置されるダンボールベッド

の確保はできたか。

**市長** 訓練を通じ、新たな課題が見つかった。具体策を検討し、避難所運営マニュアルに盛り込んでいく。

**質問** 避難行動要支援者について、名簿把握だけでなく、より実を得た平時からの見守りと救助の体制構築へ取り組むべきでは。

**市長** 具体的な支援方法などについて、情報共有を行っており、今後支援関係者同士の連携体制の強化を図っていく。

**今後のイベントの**

**あり方について**

**質問** コロナ禍で多くのイベントが中止になった。この機会に事業を見直し、精査検討してみてもどうか。

**市長** 今後のあり方や方向性を検討する際には、その目的を十分に踏まえ、適時・適切に対応する。

**その他の質問** 「コロナ禍における子どもたちの学習状況について」





《Q》デジタル機器に不慣れな方への配慮が必要だが

《A》全市民がその恩恵を受けられるよう検討を進める

富永 訓正 議員（公明党）



行政のデジタル化を

どう進めていくか

国は行政のデジタル化の強力な推進を決めたが。

質問 国、都では押印を減らす方向性。市での各種申請、手続き等での押印は。

市長 国は書面規制、押印、対面規制の見直しを望まないとされ、国や都の動向を注視し取組みを進める。

質問 マイナンバーカードの更なる普及をどうするか。

市長 国からオンライン申請に使用できる交付申請書が送付される。市では、平

日夜間や休日の臨時交付窓口の増設等を行い普及促進を加速させたい。

質問 高齢者、障がいのあ

る方、デジタル機器に不慣れな方への配慮が必要だが。

市長 全市民の皆様がデジタル化の恩恵を受けられるよう、相談体制の構築など、ニーズを捉え検討を進める。

質問 業務システム等の自治体での広域的な共同利用、連携等が必要であり課題だが。

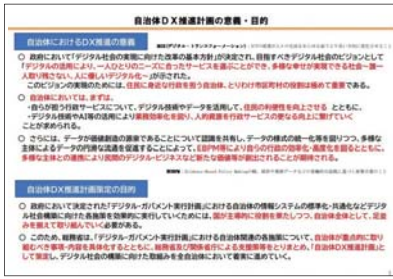
市長 運用経費削減や職員負担軽減等、業務の効率化、行政情報の保全にも有効であり、更に検討を進める。

財政を鑑みた持続可能な公共施設について

将来を見通した実効性のある計画策定が必要だが。

質問 公共施設の縮充および、広域連携での活用を考

える時期に来ているのでは。市長 財源確保や民間活力の活用等を図りつつ、公共施設の更新や整理統合・長寿命化を推進していく必要があると捉えている。



総務省 令和2年12月25日公表の「自治体DX推進計画」の意義・目的（総務省HP）



《Q》CO<sub>2</sub>排出削減実質ゼロの取組みは

《A》排出割合の多くを占める市内事業所の協力は不可欠

西川 美佐保 議員（公明党）



環境未来都市『羽村型スマートシティ』の構築を

これまで地球温暖化対策、地産地消のエネルギー等、数多く質問を重ねてきた。

さらにCO<sub>2</sub>削減を市民、団体、事業所、行政が連携強化する仕組みが必要と考

える。質問 事業所が多い羽村市は、かなり意識を高め、取り組むべき課題では。

市長 市内事業所の協力は不可欠であり、事業所の設備更新の際は市として働きかけを行っており、一例として、ニプロ株式会社は太陽光発電システムを導入した。また、日野自動車株式

会社から排出される廃熱の

実証実験に、市は積極的に参画している。持続可能な社会の構築に積極的に施策を展開していく。

質問 公共施設の太陽光パネル設置の現在の数は。

市長 市役所庁舎及び、小・中学校等6つの公共施設に設置している。

質問 環境問題に取り組む企業、団体と連携して、学校などにグリーンカーテン作りの推進や循環型社会を学ぶ機会の創出を。

市長 市では、エコネットはむらと連携し、グリーンカーテンの普及活動を進めている。市内には環境問題に熱心に取り組む事業所が多く、次世代の環境教育の推進に向け、企業の理解を得ながら進めていく。

その他の質問

「若い世代の定住促進について」「東京都後期高齢者医療における住所地利特について」



市役所庁舎に設置されている太陽光パネル



### 《Q》家族の緊急時に高齢者、子どもの受入先確保を！

### 《A》関係機関と連携し対応していく

大塚 あかね 議員（令和かがやき）



#### 高齢者、子どもの緊急受入先を確保すべき

9月議会に引き続き、家族が急病等で、同居する高齢者や子どもの介護、養育ができなくなった場合の受入先確保について質問する。

**質問** 東京都が家族の新型コロナウイルス感染により、孤立化する高齢者の受入体制整備を決定した。実施主体である羽村市の対応は。

**市長** 福生病院に働き掛け意見交換を行っている。

**質問** 保護者が新型コロナウイルス感染により入院した場合の子どもの受入先は。

**市長** 西多摩保健所と立川児童相談所が連携し、適切に一時保護される。

**質問** 子どもショートステイ事業の対象年齢を乳幼児のみではなく、就学児まで拡大するべきではないか。

**市長** 委託事業者と設置している協議会で検討を重ねている。

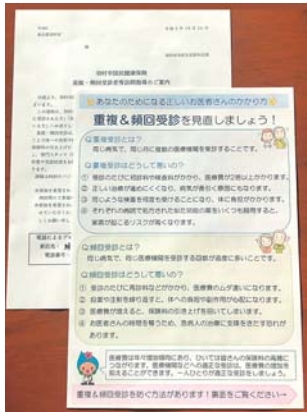
#### 重複・頻回受診者等

#### 訪問事業について

**質問** 対象者の選定基準は。  
**市長** 重複受診は同一疾病で複数の医療機関への受診が3か月以上継続している者、頻回受診は1か月に通院日数が15日以上で3か月継続する者から、がん、難病、認知症などに該当する方を除く人たちを対象としている。

**質問** 事業の効果は。  
**市長** 平成30年度が年間60万円、令和元年度が年間40万円の医療費適正化が図られた。

■その他の質問  
「給水スポットの設置について」



重複・頻回受診者等訪問指導の通知、啓発チラシ



### 《Q》5期の市政運営をどのように総括しているか

### 《A》変化する時代の要求に即した施策を推進

梶 正明 議員（新しい風）



#### 5期20年間の

#### 市政運営について

**質問** 5期20年間の市政運営について、市長はどのように総括しているか。

**市長** 現在の第五次長期総合計画は「自立と連携」を掲げ、将来像を「ひとが輝き みんなでつくる 安心と活力のまち はむら」と定め、変化する時代の要求に即した施策を進めている。この20年間、健全で安定的な財政運営、市税等の確保に努め、増大する社会保障関係経費や公共施設の改修・維持保全経費、都市基盤整備、産業振興などに取組みため、さらなる歳入の確保と行政改革に取り組

んだ。また、施策の展開を支える強固な財政基盤を堅持し、市政運営を推進してきた。今後の課題、行政運営、

**施策展開について**  
**質問** 市長としてやり残したことや今後の課題、更なる羽村市発展にどのような行政運営、施策展開が必要と考えているか。

**市長** 新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延する中、「新しい生活様式」や「新しい日常」を踏まえ、適時適切な対策に取り組む。市内の企業や事業者の皆さまには、スピード感をもった支援を行い、産業振興を図る。また、神明台2丁目地区内に最先端医療分野の企業が進出されることを機に、「職住近接」のまちづくりをさらに確かなものとして築きあげ、都市環境の充実、経済の活性化、定住促進に繋げていきたい。



羽村取水堰と多摩川





《Q》4年連続経常収支比率100%越えを早急に改善せよ

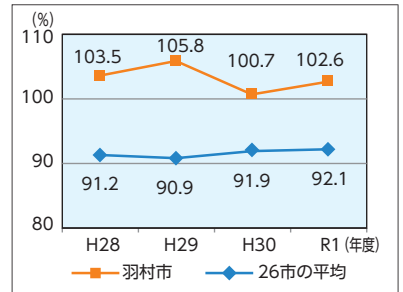
《A》100%を切ることを目指し、行財政改革を実施する

馳平 耕三 議員（令和かがやき）



**4年連続経常収支比率  
100%越えの異常事態  
を早急に改善せよ**

**質問** 平成28年度から3年連続経常収支比率が100%を超えている市町村はいくつあり、全国の何%か。  
**市長** 21団体で全市町村の1・2%である。  
**質問** 4年連続100%越えの状態をどう受け止めて改善に努めてきたか。  
**市長** 早急に改善すべき状況と認識しており、財政の健全化に取り組んでいる。  
**質問** 令和3年度予算は100%を切ることを目標としているか、また可能か。  
**市長** 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中非常に厳しい状況である。  
**質問** なぜ緊急財政対策を実施して市民に理解を求めないのか。  
**市長** 今後財政を取り巻く環境は一層厳しくなることが予想されることから、適時に市民の皆様にお知らせし理解を求めていく。



経常収支比率の推移

**信号機の無い横断歩道の  
車の一時停止率、東京都が  
ワースト2位の状態を  
羽村から改善すべき**

**質問** 市内であった車と歩行者の事故のうち、歩行者が横断中の事故は何%か。  
**市長** 平成27年79・2%、28年57・7%、29年64・3%、30年61・3%、31年28%である。  
**質問** 東京都や警察等関係機関と協力し、一時停止率改善に努めるべきではないか。  
**市長** 思いやりと感謝の気持ちをもった交通マナーの醸成に努めていく。

■その他の質問「ポストコロナ時代の社会づくりについて」



《Q》建物調査拒否なら工事の家屋被害の補償はない、とは？

《A》工事が原因の損害なら適切に補償する

山崎 陽一 議員（世論）



**区画整理撤回要求第54弾**

**権利者を苦しめる問題点**  
**質問** 移転補償交渉とはなにか。訪問は、了解を取った上ですね。  
**市長** 移転時期の1年半から2年前に、市と都市づくり公社職員が伺い説明。1年前、建物補償調査を実施。建築物等評価委員が建物評価を実施した後、補償金額を決定。権利者に補償金額を提示し、移転工法や時期、仮住まいの期間等を説明。合意の上で、移転補償契約を締結。事前に連絡をして訪問。返答がない場合、直接訪問もある。  
**質問** 決定額の明細項目や渡す資料は。また「移転の遅れで補償額が下がる」とは。  
**市長** 項目記載の「補償金提示書」を渡し、建物移転費・工作物移転費・動産移転費・仮住居費・移転雑費・竹木土石移転費などの算定根拠や補償内容を説明。移転が次年度になると建物経過年数で「再築補償率」に影響する。  
**質問** 移転の同意がなければ事業への影響は。  
**市長** 事業期間に影響しないよう施工ルートや工程見直しなど、効率的進展を図る。  
**質問** 近隣工事による建物調査は、家屋調査に使われかねない。「調査辞退なら家屋被害補償申立てはしない」よう求められた。これが地権者に寄り添った対応か。  
**市長** 移転・建物補償調査に使うことはない。辞退でも、工事が原因なら損害補償する。



工事被害は家屋調査で確認するという

■その他の質問  
「第六次長期総合計画を聞く」

